

東通村の産品が「六景楽市」ブランドに認定！

この度、(一社)東通村産業振興公社が加工・販売する4商品が、「六景楽市ブランド」に認定されました。

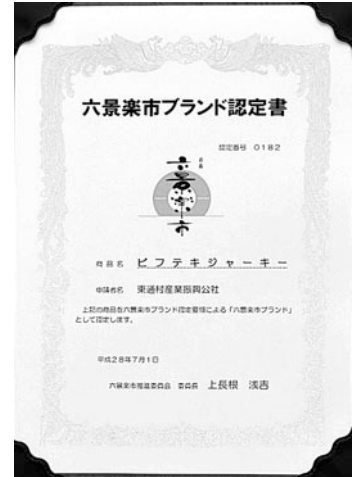
六景楽市ブランドとは、三沢市・野辺地町・東北町・横浜町・六ヶ所村と東通村の6市町村の商工会が中心となって展開する地域ブランドで、地域食材を使った特産品のブランド認定を行い、販路拡大による地域経済の活性化を図っています。

六景楽市ブランドは、地域の素材にこだわった安全で安心でき、旬にこだわり、手間ひまを惜しまない美味しいと確信できる商品。上北～下北地域を取り巻く太平洋や津軽海峡などの6つの景観と、その「六景」からもたらされる土・森・海・水・雪・空の「六つの恵」を地域の伝統と文化でブレンドしたブランドでもあります。

今回、東通村産業振興公社からは、ピフテキジャーキー、ビーフサラミ、ブルーベリージュース、ブルーベリージャムの4商品が認定されました。東通牛やブルーベリーのもつ食材自体の魅力や、手作りにこだわった加工が「美味しい」という評価を受け、東通村からは初となるブランド認定になりました。

六景楽市ブランドの申請は年2回。次回は10月頃が予定されています。東通村の食材を使った地域性あふれる商品がございましたら、六景楽市ブランド認定にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？ご興味のある方は東通村商工会 又は 東通村経営企画課にご相談ください。

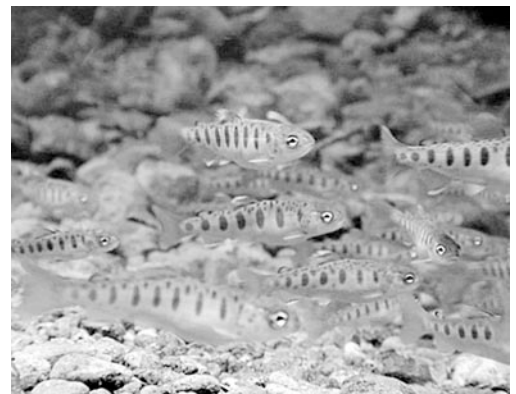
<問合せ先>東通村商工会 ☎48-2081、東通村経営企画課商工観光グループ ☎27-2111



漁獲量の増大を目指しサクラマス稚魚10万尾放流 ～サクラマス稚魚放流式～

7月1日(金)、村水産振興推進協議会(越善靖夫会長)主催により、老部川内水面保護水域において、サクラマス稚魚放流式が行われ、平均尾叉長6.3cm、体重3.5gの稚魚6万尾が村内漁業協同組合長、むつ水産事務所、東北・東京電力など関係者約50名の手により放流されました。

サクラマス稚魚は小老部川と野牛川にも既に計4万尾を放流しており、今期は合計で10万尾の放流を実施しました。今年で19回目となるこの放流事業はサクラマス漁獲量の増大を目的に行っている事業であり、村としても「つくり育てる漁業」の重要な魚種として、今後も資源の増大を図っていきたくと考えています。



放流されたサクラマス稚魚